

Protozoology Newsletter

August, 2009

日本原生動物学会会報 (No. 17) URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsproto/>

第42回日本原生動物学会大会(石巻)のご案内(第2報)
平成20年度奨励賞受賞者コメント
若手の会2009 in 石巻のご案内
原生動物学関連書籍出版情報
事務局からのお知らせ

第42回日本原生動物学会大会(石巻)のご案内(第2報)

大会長 芳賀 信幸(石巻専修大学 理工学部)

1. 会期 2009年10月30日(金)～11月1日(日)
2. 会場 石巻専修大学 5号館 ※入校は「北門」よりお願い致します。
〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地
石巻専修大学HP: <http://www.isenshu-u.ac.jp>
3. 大会事務局 石巻専修大学大学院理工学研究科
第42回日本原生動物学会 大会事務局 芳賀 信幸
Tel: 0225-22-7716 (芳賀携帯: 090-5835-5687)
Fax: 0225-22-7746, E-mail: haga@isenshu-u.ac.jp
4. 発表 一般講演(口頭発表) 15分(発表12分, 討論3分)
一般講演は全て口頭発表で行う予定です。発表には液晶プロジェクターを使用しますので、スライドはパワーポイントで準備し、USB でご持参下さい。35 mm スライドおよび OHP は使用できません。会場に Windows と Mac の PC を各1台用意します。PC の操作は発表者をお願い致します。
※ 口頭発表が多い場合、一部の発表をポスター発表に変更していただく可能性があります。事務局からご連絡致しますので、ご協力をお願い致します。
5. 懇親会 10月31日(土) 19時から石巻グランドホテルで行います。
6. 大会参加費 懇親会費 大会当日に受付にてお支払いください。
大会参加費: 一般会員 3,000 円 学生会員 1,000 円
懇親会費: 一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円
7. 申込方法 1) 締切 2009年9月30日(水)

2) 申込方法
講演発表者は日本原生動物学会の会員に限られます。
学会未加入の発表予定者は、予め入会手続きをお願い致します。入会申込書は原生動物学雑誌の各号末か学会HP (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsproto/index.html>) にありますので、日本原生動物学会事務局にお送りください。

【一般参加・講演申込用フォーマット】に従って、大会事務局の電子メールアドレス (haga@isenshu-u.ac.jp) に送信してください。件名は「参加申し込み」としてください。なお、電子メールをご利用にならない場合は、事務局までお問い合わせください。

【一般参加・講演申込用フォーマット】

- 1) 郵便番号
- 2) 住所
- 3) 所属
- 4) 氏名(ふりがな)
- 5) 電子メールアドレス
- 6) 電話番号
- 7) 一般・学生 (いずれかを選択)
- 8) 発表の有無 (いずれかを選択)
口頭発表 ・ 参加のみ
(発表は1人1題です。共同研究者が発表する場合には、発表者名を明記して下さい。参加者名簿作成の参考に致します)
- 9) 口頭発表の方法 (いずれかを選択)
Windows ・ Mac (ともに液晶プロジェクター)
- 10) 若手の会ワークショップ (いずれかを選択)
参加 ・ 不参加
- 11) 若手の会勉強会 (いずれかを選択)
参加 ・ 不参加
- 12) 若手の会懇親会 (いずれかを選択)
参加 ・ 不参加
- 13) 大会懇親会 (いずれかを選択)
参加 ・ 不参加
- 14) その他連絡事項

講演申込みは、次の「プログラム掲載用要旨作成要領」に従って作成し、参加申込みメールの添付ファイルとして送信してください。なお、10月5日(月)までに事務局から返信メールが届かない場合には、お手数ですが再度参加申込みメールを送信してください。

【プログラム掲載用要旨作成要領】

※ 下記のフォーマットに従い、MS-Word で作成し、97-2003 形式で保存してください。
Mac ユーザーはファイル名に“.doc”の拡張子を付けてください。

- 1) 和文タイトル
- 2) 和文発表者氏名 (全員) (所属)
※ 共同研究の場合は発表者の前に○を付加。所属が異なる場合は上付きの1, 2, 3...で区別。
- 3) 英文タイトル
- 4) 英文発表者氏名 (全員) (所属)
- 5) 本文 (全角250字以内。英文の場合は100 words 以内)
※ 35歳以下(平成21年6月30日現在)の筆頭発表者を対象とした「ベストプレゼンテーション賞(BPA)」が選考・授与されます。該当する発表者は和文タイトルの後ろに「BPA 対象演題」と必ずご明記ください。

【講演要旨(原生動物学雑誌掲載用)作成要領】

※ 英文抄録を含む、原生動物学雑誌計採用講演要旨は、下記の作成要領に従って MS-Word で作成し、97-2003 形式で保存して、10月20日(火)までに大会事務局宛にメール添付ファイルでお送りください。件名には「雑誌掲載用要旨」、本文には「著者名」と「演題」をご記入ください。Mac ユーザーはファイル名に“.doc”の拡張子を付けてください。
なお、電子メールをご利用にならない場合は、事務局までお問い合わせください。

- 1) 和文タイトル
- 2) 和文発表者氏名 (全員) (所属)
※ 共同研究の場合は発表者の前に○を付加。所属が異なる場合は上付きの1, 2, 3...で区別。
- 3) 英文タイトル
- 4) 英文発表者氏名 (全員) (所属)
- 5) 英文要旨 (200 words 程度)
- 6) 本文 (2,000 字程度)
目的、方法、結果、考察、文献の順に記入してください。
(注1) 英文は著者の責任で適切な校閲を行った上でご提出ください。
(注2) 図(線画あるいは写真)も使用できます。図を画像ファイルにしたものも合わせて提出してください。画像ファイルの規格は TIFF フォーマットとし、線画の場合は 600 dpi、写真の場合は 300 dpi で作成したものを本文と一緒にメール添付して送付してください。
(注3) ファイルサイズが 10 MB を超える場合は、メール添付ではなく、CD-R に入れて 10月20日(必着)までに大会事務局宛に郵送してください。

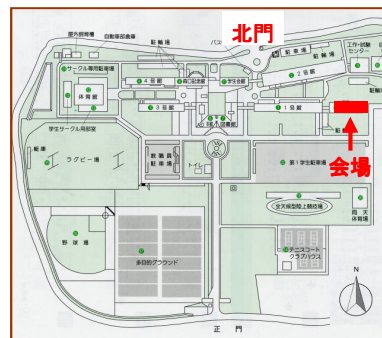
8. 宿泊 大会事務局では宿泊のお世話は致しませんので、各自インターネットや旅行代理店などを通じてご予約ください。
・石巻グランドホテル Tel: 0225-93-8111
シングル 7,800 円～ 専修大割引有(1割)・大会懇親会場
・ビジネスホテル C&A Tel: 0225-95-7555
シングル 4,200 円～ 懇親会場から徒歩5分・学生向け など。

9. 大会予定 10月30日(金)
14:00～16:00 若手の会ワークショップ
16:00～18:00 評議員会
16:30～17:30 若手の会勉強会
18:00～20:00 若手・評議員会合同懇親会
10月31日(土)
09:00～12:00 口頭発表
12:00～13:00 昼食休憩
13:00～14:30 口頭発表
15:00～16:00 総会、奨励賞授与式
16:30～17:30 特別シンポジウム
「原生動物学の公理系を考える」
19:00～21:00 懇親会
11月1日(日)
09:00～11:00 口頭発表
11:00～12:00 シンポジウム
「原生動物の多様性モニタリング」
12:00～13:00 昼食休憩
13:00～15:00 口頭発表

10. アクセス 1. 東北新幹線 仙台駅下車、仙台からは JR 仙石線 石巻駅下車、または仙台～石巻高速バス 石巻駅下車
2. 東北自動車道 - 三陸自動車道 - 石巻河南インター
3. 仙台空港 - 空港仙台駅連絡列車 - 仙石線 石巻駅下車
4. フェリーは仙台港着で、フェリー埠頭からタクシーで仙石線 多賀城駅まで。多賀城駅からは仙石線で石巻駅まで。



石巻駅から会場までのアクセス
(赤色が学会会場)



石巻専修大学案内図
(赤色の建物が学会会場)

平成20年度大会奨励賞受賞者コメント

児玉 有紀 (KODAMA, Yuuki)

山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系専攻・日本学術振興会 特別研究員PD

私は平成20年度に日本原生動物学会奨励賞を受賞しました。名誉ある賞を受賞し光栄に思うと同時に、賞の名に恥じぬようにと責任を感じています。

私が「ミドリソウリムシと共生クロレラの細胞内共生成立機構の研究」と出会ったのは学部4年の時です。その後の7年間、同じテーマで研究をしてきました。このテーマに出会えたことと研究を継続できる環境にいることを幸運に思います。大学入学後は時間を持て余し、熱心に打ち込めるものが見つからずこのままではいけないと焦りを感じていました。しかし、学部3年の時の藤島政博先生の講義で、ミドリソウリムシが真核細胞同士の細胞内共生の研究に重要な材料であるにも関わらず、その仕組みはほとんど未解明であること知り、自分がそれを解明したいと思い、藤島研究室に飛び込みました。その後は、実に刺激的で充実した生活となりました。博士後期課程1年の時には、国際原生動物学会議（2005年広島市）でベストプレゼンテーションアワードを受賞しました。この受賞は、私の研究意欲をさらに向上させました。私の目標は大学に自分の研究室を持ち、今の研究を発展させることです。後継者を育てる喜びは何にも代え難いと思います。この目標の達成のため、これからも研究を楽しみつつ真核細胞の進化の原動力となった細胞内共生の分子機構を明らかにしたいと思っています。奨励賞の候補者として推薦して下さった高木由臣先生、学振PDの初年度の受入教員になっていただいた井上勲先生、私のやる気を起こさせてくださった藤島先生にこの場を借りて深く感謝いたします。最近、これまでの私の研究を下記の2つの総説にまとめましたのでご紹介いたします。仲間が増えることを期待しています。

1. 児玉有紀、藤島政博。総説 単細胞動物ミドリソウリムシと緑藻クロレラの細胞内共生成立機構。原生動物学雑誌。41 (2), 117-132, 2008.
2. Kodama Y. and Fujishima M. Chapter 2, Infection of *Paramecium bursaria* with symbiotic *Chlorella* species. In, *Endosymbionts in Paramecium*. Microbiology Monographs Vol. 12, Fujishima M. (Ed). Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp. 31-55, 2009.



奨励賞授賞式

(左) 児玉 有紀 博士
(右) Dr. Oanh Kim



KIM, Oanh

Institute of Biotechnology, Vietnam Academy of Science and Technology

It was great surprise when I knew I got The Encouragement Award for Young Protozoologists from Japan Society of Protozoology. At that time, I had left Japan for my home country, Vietnam, for a half of year. By this occasion, thanks to the supports from Prof. Harumoto, I had chance to attend The 41st Annual Meeting of Japan Society of Protozoology. I was very happy because of not only receiving the award but also meeting Japanese friends again. I don't know how to express my deep gratitude to Prof. Harumoto for her guidance, supports and encouragement. I also would like to thank the committee of Japan Society of Protozoology for selecting me.

I had been a member of Cell Information Lab (Prof. Takagi and Ass. Prof. Harumoto), Nara Women's University since Oct., 1999. At first, I didn't know much about ciliates, but I was curious to know about the diversity of codon usage in ciliates. The genetic code of nuclear genes in some ciliates was found to differ from that of other organisms in the assignment of UGA, UAG, and UAA codons, which are normally assigned as stop codons. In some ciliate species, the universal stop codons UGA and UAG instead encode glutamine. In some other ciliates, the universal stop codon UGA appears to be translated as cysteine or tryptophan. Since the ciliate genetic code has deviated even within the phylum, this raises the question of how many times the UGA/UAG/UAA codons have changed their meanings in ciliates; and what factors related to the mechanisms by which codon reassignments have occurred. I paid my attention to eukaryotic release factor 1 (eRF1) because the protein is believed to play an important role in the stop codon reassignment in ciliates. Thanks to the guidance of Prof. Harumoto, Prof. Takagi, the collaboration with other labs, and the discussion of all members in our lab, I have obtained some interesting results [Gene 346 (2005) 227-286 and Gene 417 (2008) 51-58].

I had been in Nara for more than 9 years of which I spent more than 6 years in Nara Women's University. I really had good time in the University, in Nara and in Japan. For me, Nara is the second home town. After returning to Vietnam, I have been working as researcher in Institute of Biotechnology, Vietnam Academy of Science and Technology since Sep., 2008. I hope that in the future, I can take part in establishment of joint research projects/ seminars with the collaborators in Japan.

若手の会2009 in 石巻のご案内

若手の会HP <http://www.geocities.jp/youngprotozoologists/>

本会は、原生生物に関わる若手研究者間の交流を深め、お互いに成長することを目標に活動しております。今年の石巻大会では、下記の日程で、若手研究者によるワークショップとフォトコンテスト、さらに堀学先生(山口大学)による勉強会を開催致します。大勢の若手研究者、先生方のご参加をお待ちしております。

若手の会ワークショップ

発表者募集中心！ 発表者募集締め切りは9月30日（水）

日時：2009年10月30日（金）14：00～ 会場：石巻専修大学 5号館

発表内容：ご自分の研究テーマ（発表・未発表は不問） 発表形式：プロジェクトによる口頭発表
発表時間：1人20～30分程度（質疑応答込み） 発表者数：4～5名

若手研究者による研究発表会を行います。あなたの研究を中心に、それにまつわる背景、原生動物の魅力等を発表してください。毎年多くの若手研究者や先生方が参加されますので、あなたの研究をアピールする絶好の機会です！ ワークショップでの発表を通して、斬新な考えや厳しい意見を得て、ご自身の研究へと役立ててください。多くの研究者との交流もあり、学会を十二分に楽しめます。この機会に、ぜひ発表してみませんか？

若手の会勉強会 堀学先生（山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系）

日時：2009年10月30日（金）16：30～ 会場：石巻専修大学 5302室（予定）

『機能ゲノミクスのモデル生物としてのソウリムシ』

かつて、（遺伝子伝達の）遺伝学の時代には、モデル生物として扱われていたソウリムシが、分子生物学の進展とともに、他の生物にその座を奪われてしまった。しかし、最近、ソウリムシでもゲノミクスやプロテオミクス、RNAiと、時代の潮流に追いつき、再び、モデル生物の座を狙える時がやってきた。私たちが行っている、ソウリムシの繊毛抑制分子機構の研究と、その応用としてのヒト繊毛病の原因究明に関する研究について紹介いたします。

フォトコンテスト

エントリー受付中！ 応募締め切りは9月30日（水）

あなたの奇跡の1枚、お待ちしております！ 顕微鏡写真などにとどまらず、様々な写真を募集します。どなたでも応募いただけます。若手研究者から先生方まで、お宝写真を披露していただけないでしょうか。A3～A4サイズの用紙に写真タイトル、氏名/所属、作品の説明文を添付し、当日所定の場所へ持参し展示していただきます。学会参加者の投票により優秀作品が決定され、記念品が贈呈されます。今年は新たに豪華賞品をご用意しましたので、奮ってご応募ください！！過去の受賞作品は、若手の会ホームページのフォトコンテストコーナーで見ることができます。

若手の会・評議員会 合同懇親会のご案内

若手研究者から先生方まで、たくさんのご参加をお待ちしております。

日時：2009年10月30日（金）18：00～ 場所：石巻専修大学内 食堂

会費：1人2,000円

若手研究者によるワークショップ、若手の会懇親会への参加は、大申し込みフォームよりお申し込みください。ワークショップ発表申し込みやフォトコンテストへの応募は、杉田 真希（makimaki@mail2.acsnet.ne.jp）までメールでお知らせください。宜しくお願いします。

日本原生動物学会 若手の会会長 杉田 真希



原生動物学関連書籍出版情報

寿命論 - 細胞から「生命」を考える -

高木 由臣 著

発行：NHK books

価格：1,019円（税込）

なぜ「寿命」という決められた死が存在するのか。じつは寿命は原初の生命には存在せず、有性生殖の誕生と共に生まれたものである。遺伝子の働きからタンパク質の生滅、細胞器官の挙動までゆらぎを孕む生命システムのメカニズムを明らかにし、ソウリムシからヒトまでの寿命の法則を吟味することで、生物の多様な生と死の姿を描き出す。原核細胞から真核細胞へという進化のドラマを追いつ「死」を取り込んだ生命の進化戦略における自身の生命論。 （「BOOKデータベース」より）

Endosymbionts in *Paramecium* - Microbiology Monographs Vol. 12 -

藤島 政博 編

発行：Springer-Verlag

価格：135.15 Euro

Endosymbiosis is a primary force in eukaryotic cell evolution. In order to understand the molecular mechanisms involved in this mutualistic relationship, experiments to reproduce endosymbiosis are indispensable. The ciliate "*Paramecium*" is an ideal host for performing such studies. Topics presented in this volume are: the origins of algal and bacterial symbionts in "*Paramecium*", the diversity of endosymbiotic bacteria, such as "*Holospira*" bacteria and especially "*Chlorella*" species, as well as the infection and maintenance processes. The metabolic control, the regulation of circadian rhythms and photobiological aspects of the mutualistic association, as well as the killer effect of "*Paramecium*" and its causative agents are further points discussed. 繊毛虫では初の細胞内共生生物の専門書です。本学会員が5つの章の著者となっています。

瀬戸内海プランクトン図鑑

岩国市立ミクロ生物館 編

発行：自費出版

価格：2,100円（税込）

子供から大人まで楽しく読める、海産では日本初の学習図鑑です。瀬戸内海で確認されたプランクトン約130種を、原生生物を中心に、写真やイラストを交え、明解に解説しています。持ち運びに便利なお手頃サイズ、全144ページ、生物の動きがわかるDVD付です。ご購入・詳細は岩国市立ミクロ生物館ホームページ（<http://shiohaze-kouen.net/micro/info/page273.html>）をご覧ください。

事務局からのお知らせ

日本原生動物学会会長および評議員選挙投票のお願い

日本原生動物学会会則第5条により、現会長および評議員は今大会（平成21年11月1日）をもって3年の任期を満了いたします。つきましては、次期会長および評議員の選挙を行いたく、**同封の書類**「**日本原生動物学会会長および評議員の選挙について**」に記載の**各事項にご注意の上、漏れなく投票下さいますようご協力お願い申し上げます**。本学会は会長および評議員選挙細則を定めておりませんが、慣例により選挙事務を庶務担当評議員が、また、開票作業は平成21年9月下旬、庶務担当評議員在住地近郊の評議員(松岡達臣、高橋忠夫、藤島政博)による立ち会いで山口大学にて実施させていただきます。投票の締め切りは**2009年9月15日（火曜・必着）**の予定です。漏れなく投票いただきますよう、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

庶務担当評議員 松岡 達臣

編集・刊行 日本原生動物学会 編集局

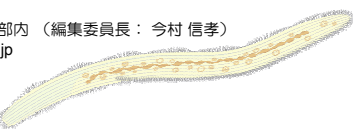
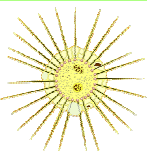
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学生命薬学部内（編集委員長：今村 信孝）

Tel / Fax: 077-546-2825 E-mail: imamura@ph.ritsumei.ac.jp

ニュースレター編集担当 末友 晴隆（岩国市立ミクロ生物館）

E-mail: suetomo@shiohaze-kouen.net

ニュースレターに関するご意見、ご感想等お待ちしております。



ニュースレター17号は日本原生動物学会ホームページからダウンロードできます。非会員の方への宣伝などに、ぜひご利用ください。
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsproto/journal/nl-17/NL17.pdf>